

会員の紹介



◇氏名

- ① 所属
- ② 連絡先
- ③ 学歴や職歴
- ④ 専門分野、業績
- ⑤ 趣味など個人の紹介
- ⑥ 読者へのメッセージ

◇伊藤 憲男 (いとう のりお)

- ① 大阪公立大学放射線研究センター
- ② E-mail:c21983a@omu.ac.jp
- ③ 立教大学卒、大阪府立放射線中央研究所、大阪府立大学、大阪公立大学
- ④ 30年以上堺市で大気エアロゾルを観測してきました。日本の大気環境は良くなりましたが、まだ、解決する問題もあり、地道な観測が必要でしょう。

地球温暖化問題にたいへん興味を持っています。このまま温暖化が進めば、人類の生存にかかわる危機に直面すると考えています。そこで、主に一年生を対象に「量子放射線の世界」という授業で、受講生に温暖化に対する対策を回答してもらっています。ある授業の42人すべての回答をここに載せます。今の若者の温暖化に対する考えが少し見えてきます。彼らが、今後どうするかを決めていくことになります。

ここから 回答です。私の先入観をなくすためすべての回答を載せます。

- ・CO₂をへらすには、植物を植えたりすればよい。
- ・化石燃料を燃やす量を減らし、代価物を利用する。
- ・化石燃料から自然エネルギーの使用に移行していく。
- ・植物の光合成で少しでもCO₂をO₂に変えられるよう、森林を残し、植林をしていったらいいと思う。
- ・CO₂を減らすには化石燃料を燃焼しなければ使用できないものをこの世から少しでもいいから消していけばいいと思った。
- ・人工的により効率の優れた光合成システムを作り出し、それを世界中に多数設置する。これによりCO₂が減少しO₂が増える。同時にエネルギーも産み出すことできる。また、海岸を増やす。海岸ならば伐採されたりしないし、種をまくだけならば手間もかからないと思う。
- ・二酸化炭素を固定化できる植物をたくさん植えるか、炭素にして繊維などに利用できる技術で開発する。
- ・CO₂を減らすには、私達ができることの一つに自動車を使わず公共機関の電車を利用することである。
- ・CO₂を減らすためには化石燃料の代わりに木材を利用すればよい。

- ・CO₂をへらすには、化石燃料の代わりに天然ガスなどを燃料として使う、CO₂を吸収する木を植林する。
- ・木を増やす。
- ・木材や化石燃料を燃やさない。
- ・CO₂を減らすためにはエネルギー的に高効率な機器を普及させたり、植林したりするのがよいと考えられる。
- ・CO₂を大量につかう化学反応を構築するしか方法がない気がする。
- ・二酸化炭素を地中に埋める。
- ・CO₂を減らすには自動車を電気自動車にすればよいと思う。
- ・極端な話だが、化石燃料を使いすぎないことであると思う。
- ・無回答
- ・CO₂は化石燃料によるエネルギーでの生活をなるべく控え自然を利用した再生可能エネルギーを作り出すようにすれば良いと考えた。
- ・自動車の燃費を更に向上させ、化石燃料の消費を削減する。現在開発されている水素自動車や電気自動車の生産性とともコストパフォーマンスを上げることで一般家庭に普及されるのを目指して、ガソリン車、ディーゼル車の利用数を減らす。
- ・無回答
- ・無回答
- ・電気自動車、水素自動車の普及、クリーンエネルギーのよりよい開発。
- ・CO₂を減らすためには、無駄に電気などを使わないようにする。
- ・植物を増やす、化石燃料にかわるエネルギー源を発見、開発する。
- ・無回答
- ・化石燃料の使用法として火力発電が存在している。火力発電に対する依存率を減らすため海洋温度差発電といった新たな発電技術を実用化する。
- ・無回答
- ・最大の排出源の1つであるCO₂の排出プラント火力発電所を減らし再生可能エネルギー(できれば、地熱、太陽熱等原子力発電以外のもの)の発電所への移行。
- ・水素自動車によって石油消費量を減らす。そのために水素自動車に国が補助金を出す。
- ・世界中で木をたくさん植える。化石燃量の燃焼を減らす。
- ・植林。物を長い間使い続けることによって消費を減らす。
- ・CO₂を減らすには、火力発電所を抑えて原子力発電を多くすればいい。
- ・化石燃料の使用を減らし、新エネルギーを模索する。水素エネルギーの実用化など。
- ・CO₂ガスを減らすには、我々の科学技術が新エネルギー利用によって現在の化石燃料を使わなくなる世界をつくることを待つしかないと思う。
- ・森林を増やす。リサイクルの徹底(3Rの徹底)。化石燃料のようにCO₂を排出しないようなエネルギーを開発することが一番の解決策だと思う。
- ・車の使用を少しでも減らす。コンセントを抜く。
- ・CO₂を減らすには、CO₂をO₂へと変える植物を増やす。化石燃料から自然エネルギーへの移行などが考えられる。
- ・なるべく車を使わずにバスや電車を使う。こまめに電気などを消す。
- ・電気自動車やハイブリッドカーの普及、または火力発電に頼らない自然エネルギーでの発電など。
- ・CO₂を減らすためには、光合成を行う植物を増やすまたはむやみに減らさないことが有効であると考えられる。

若い人たちの温暖化への考えに触れていかがでしたか。具体的なことを考えてない、考えが単純だとか、少しまちがっているとかの感想を持たれたかと思いますが。はたして、我々大人や科学者にこれぞという決め手となる温暖化対策があるのでしょうか？温暖化対策は待ったなしの状況になっていると私は考えています。